



ハウステンボス

「第3回長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞」受賞者研究発表会および授与式 開催報告

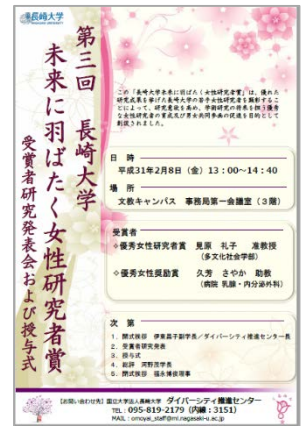
平成31年2月8日（金）、文教キャンパス事務局第一会議室において、第3回「長崎大学未来に羽ばたく女性研究者賞」受賞者研究発表会および授与式を挙行了しました。同賞は、優れた研究成果を挙げた長崎大学の若手女性研究者を顕彰することによって、研究意欲を高め、学術研究の将来を担う優秀な女性研究者の育成及び男女共同参画の促進を目的として、平成28年度に創設されたもので、今年が第3回となります。

当日は学長、理事、副学長、学部長等列席のもと、受賞者による研究発表会に続いて授与式を執り行い、学長から受賞者に、表彰状、研究費として副賞の目録、記念の盾が贈られました。

受賞者

【最優秀女性研究者賞】多文化社会学部 見原礼子 准教授

【優秀女性奨励賞】病院乳腺・内分泌外科 久芳さやか 助教



市民公開講座の開催報告

平成30年12月7日（金）に教育社会学・男性学の研究者 多賀太氏と、大学経営の専門家として著名な吉武博通氏をお迎えして、市民公開講座を開催しました。男性も女性も輝ける社会になるよう、今の時代が求めるダイバーシティマネジメントの真義を伝える内容でした。

本講座には、多くの皆様にお集まりいただきました。（参加者51名：長崎大学教職員36名、一般・その他15名）

参加者アンケートでは「働き方により、心にゆとりをうみ、コミュニケーションできる環境をつくり、ひとりひとりを尊重する、このステップを常に意識したいと思います」「柔軟に長い人生の中で考え方、捉え方の視点を変えられることが素晴らしい」等、興味深い内容であったことや、今後の参考としたいとの意見が多くありました。



LGBT相談窓口開設

学生や教職員とその家族を対象としてLGBT等に関する相談を受け付けています。相談に際しては、守秘義務を遵守するとともに、相談者のプライバシーを尊重し、安心して相談できるように配慮いたします。

また、「カミングアウトされたけれど、どうすればよいかわからない」「困っている当事者を知っているが、自分に何ができるかわからない」等の相談についても、保健・医療推進センター、学生何でも相談室（グローバル教育・学生支援棟1F学生支援課 学生何でも相談窓口）、ダイバーシティ推進センターの3か所の窓口で相談することができます。



ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (全国ネットワーク中核機関(群))の参画について

国立大学法人大阪大学を幹事機関、国立大学法人東京農工大学及び日本アイ・ビー・エム株式会社を協働機関として申請した取組がH30年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(全国ネットワーク中核機関(群))」に採択され、女性研究者を取り巻く研究環境整備や研究力向上に取組む全国の諸機関をつなぎ、国内外の取組動向の調査やその経験、知見の全国的な普及・展開等を図る全国ネットワークを構築するものです。

地域ごとの連携体制を形成・強化するために、全国を8ブロック(北海道、東北、関東、九州・沖縄など)に分け、地域ごとの幹事大学を設定しました。

本学は、本事業において、九州・沖縄ブロックの幹事大学として、九州大学及び宮崎大学と共に参画し、当該ブロックの中心的役割を担う機関として、本事業の推進を図ります。



2019年度上半期 リスタートアップ研究費利用者募集

研究者が出産・育児・介護等でやむを得ずキャリアを一時中断し、その後研究活動に復帰した場合に、研究活動の促進または負担軽減のための研究費を助成しています。

■助成期間：2019年5月1日から2019年9月30日
の間で希望する期間 最長5か月間)

- 申請期限：2019年4月10日(水)
17時(センター必着)
- リスタートアップ研究費：月額50000円
(※助成期間中に研究遂行のために使用すること。)
- 採用予定数：3名

■利用対象者：本学に所属する研究者(常勤教員(有期雇用を含む)、特任研究員、外国人研究員)で、申請要領に定める要件を満たしている者。

申請にあたっては、センターホームページの申請要領をよくご確認ください。

リスタートアップ研究費・テクニカルスタッフ利用者の声

幼児や小学校低学年の子育てを共稼ぎでしていると、夫婦交代で送迎バスの時刻を考慮し業務を終了せざるを得ません。通常業務をこなすのが精一杯であり、研究時間を取ることが至難となります。今回、テクニカルスタッフ雇用制度を利用し、インタビュー調査のテープ起こしや各種データを揃えてもらいました。

また、投稿論文校正についても誤字脱字等についても発見してもらい、論文執筆にあたって助かりました。

本制度は、研修支援のための制度であり、大学から支援を受けているという精神的な支えにもなりました。全国的に女性教員の確保が求められている状況にあって、中期目標達成のためにも必要な制度であると考えます。引き続き本制度の維持をお願いいたします。



環境科学部
保坂 穂 教授

産休を理由にリスタートアップ研究費をいただきました。期間中の目標として、教育・研究素材作成によるデータベース化の促進をあげていました。

この素材作成には研究協力者との打ち合わせが必要ですが、研究費で購入させていただいたプレゼンテーションツールにより資料の共有が簡易になり作業効率が格段に上がりました。より最適な環境が整ったことで、時間が限られた打ち合わせにおいてスムーズに作業を進めることができました。

応募するにあたり、年度初めから具体的に研究計画を立てるなど、研究への意識を維持することができました。また早めに計画を立てられたことで、家族への相談も時間的余裕をもって行うことができ、小さい子どもがいながらも学会参加などの出張予定を入れることができました。

長期的活動を再開する前の助走期間が実質的なものとなり、休眼前に抱いていた活動休止に対する不安が緩和されたことも研究助成いただいたからに他なりません。サポートいただきましたダイバーシティ推進センター、関わってくださった皆様に心より感謝しております。



言語教育研究センター
隈上 麻衣 助教

日頃よりダイバーシティ推進センターの運営に、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。センター職員一同、今後も力を尽くして参りますので、引き続きよろしく願いたします。

【編集・発行】国立大学法人 長崎大学 ダイバーシティ推進センター
(愛称:おもやいセンター)

〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL: 095-819-2889 FAX: 095-819-2159

E-mail: omoyai@ml.nagasaki-u.ac.jp HP: https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp

